

1619	元和 5	古田重治が三重県の松坂藩から 5 万 4 千石で入る
1623	元和 9	城下町が整うという
1646	正保 3	跡継ぎをめぐる古田騒動がおこる
1648	慶安 1	古田家が改易され、一時幕府領となる
1649	慶安 2	松平（松井）周防守家が兵庫県の宍粟藩から 5 万 4 百石で入る
1662	寛文 2	城下の商家を新町、蛭子町に移す
1709	宝永 6	浜田浦から出火し、城下が大火となる
1724	享保 9	江戸藩邸で鏡山事件がおこる
1725	享保 10	紺屋町から出火し、城下が大火となる
1759	宝暦 9	本多家が茨城県の古河藩から 5 万石で入る
1767	明和 4	幕府を巻き込む浜田宗論がおこる
1769	明和 6	再び周防守家が愛知県の岡崎藩から入る
1778	安永 7	門ヶ辻町、蛭子町で大火
1785	天明 5	周防守家に 1 万石が加増され 6 万 4 百石となる
1791	寛政 3	柿木山に植林。藩校長善館が創設される
1810	文化 7	浜田浦から出火し、城下が大火となる
1835	天保 6	仙石騒動に連座し、幕府が転封を申し渡す
1836	天保 7	竹嶋一件が発覚。松平（越智）右近将監家が群馬県の館林藩から 6 万 1 千石で入る
1864	元治 1	第一次幕長戦争で益田まで出陣
1866	慶応 2	第二次幕長戦争により浜田城が落城。原井組騒動がおこる